



教えて! Doctor

ドクター

何気ないその症状を見逃さないで!
あなたの健康や体の心配に専門医が回答してくれます。

その質問に
私が答えます



井原第一クリニック
副院長 和田智顕 先生
小児科専門医／アレルギー専門医
地域総合小児医療認定医／医学博士



クッキーさん(27歳)

現在生後5か月の子ですが、これから離乳食を始めようと思っています。アレルギーにならないために始める時期は遅い方がいいですか?また、始める前にアレルギー検査を受けた方がよいですか?

アレルギー疾患にはさまざまなものがありますが、食品が関係するもので乳児期に問題になるのは主に以下の2つです。

①即時型食物アレルギー:特定の食品を食べたあと数分から数時間で皮膚症状(赤くなる目周りや顔が腫れる、じんましんができる、かゆくなる)や呼吸器症状(せきがでる、胸がゼーゼーいう、呼吸が苦しそう)、消化器症状(吐く、下痢をする、おなかが痛くなる)などがでる。

②食物アレルギーの関与するアトピー性皮膚炎:もともとあるアトピー性皮膚炎が、特定の食品を食べたあと1~2日して悪化する。

以前はアレルギーを予防するために離乳食の開始時期を遅らせた方が良いという説もありましたが、現在ではすすめられていません。標準的な離乳食の開始時期である生後5~6ヶ月に始めるのが良いでしょう。離乳食をすすめていく途中で、食後にアレルギー症状が出た場合は原因となる食品を探すため検査が必要になります。

よく行われているアレルギー検査は、卵・牛乳・小麦などアレルゲンとなる物質にくつつく抗体の量を血液で調べる検査で、測定された数値をもとにクラス0~6で判定されます。しかし実は、この検査は結果が陽性でも(クラス6でも!!)食べて何も症状が出ないこともあります。陰性(クラス0)でも食べることでアレルギー症状が起ることもあるのです。なお、このアレルギー検査についてですが気になる症状がないお子さんでは、検査をうけても、その結果をもとに食べない方がよいのか食べても大丈夫なのかは判断できいため、検査の必要はありません。

アトピー性皮膚炎があるお子さんがこの検査を行って陽性になる食品があつた場合でも、除去する必要がないことは多くあります。最近はこの検査の結果だけを理由に必要なない除去食を行っているケースが多くみられ、問題になっています。必要なない除去食を行うことは、ビタミンDやカルシウムなどの栄養素の不足から成長の障害につながることもあるのでよくありません。除去食が必要かどうかは、食物日誌やさまざまな検査などをもとに専門医と相談して決めていきましょう。